

新型コロナウイルス感染症 施設と家庭の消毒方法

新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫（ひまつ）感染と接触感染の2つがあります。

○飛沫感染

感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを口や鼻から吸い込むことにより感染します。

○接触感染

感染者が、ウイルスが付着した手で触ったドアノブ、手すり、つり革を触ることにより、非感染者の手にもウイルスが付着し、その手で目・鼻・口を触ることで感染します。

接触感染を防ぐためには、手指がよく触れる場所を清潔に保つことが大切です。

手指がよく触れる場所や物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウム又は消毒用エタノールを使用しましょう。

消毒液の作り方と消毒方法の例

消毒液	市販濃度	濃度	対象	方法
次亜塩素酸ナトリウム	主に5～6%	0.1%	感染している疑いがある人が使用したトイレの消毒	ペーパータオル等に十分に薬液を含ませて拭き、自然乾燥させる。 ・濡れた場所や排泄物がある場合は、水分や排泄物をペーパータオル等で拭き取ってから行う。 次亜塩素酸ナトリウムで金属部を消毒する際は、消毒後水拭きする（さび防止）。 ・消毒液の噴霧（スプレー）は不完全な消毒やウイルスの舞い上がりの可能性があるため避ける。
		0.05%	手で触れる部分の消毒 家庭内：ドアノブ、取手、テーブル、トイレの便座、水道の水栓・レバー、電気・家電のスイッチ等 施設の供用部分：エレベータやオートロック等のボタン、出入り口のドアノブ等 パソコンのマウス・キーボード、タブレットやスマホの表面、電話の受話器	
消毒用エタノール	70～85%	そのまま使用	手で触れる部分の消毒 手指の消毒	

市販の塩素系漂白剤を使った消毒液の作り方



●消毒液をつくる時の注意

- 成分表示で「次亜塩素酸ナトリウム」を確認
注）酸素系漂白剤は効果がないので注意。
- 原液（薄める前）に素手で触らない
- 消毒液を作る時は家事用の手袋を着用
- 使うたびに必要な量だけ作る（作り置きはしない）
- 換気に気をつける。

●消毒の際の注意

- 絶対に手や指の消毒には使わない。
注）手荒れの原因。目に入ると危険。手指は手洗いで。
- 作った消毒液はバケツなどに入れて薄いタオルを浸し、絞って拭く。
- スプレー容器に入れて噴霧しない。
注）吸い込むと有害。ウイルスも飛散する。
- 金属製品などを拭くと変色や腐食することがあり注意。

メーカー	商品名	水1ℓに入れる漂白剤の分量
花王	ハイター キッチンハイター	付属のキャップ 1杯(25 ml)
カネヨ 石鹸	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	付属のキャップ 2分の1杯(10 ml)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	付属のキャップ 2分の1杯(10 ml)

※厚生労働省、経済産業省の資料から